



### 「広島支部副支部長就任にあたり」

広島支部副支部長 山本 孝喜

「平成19年度、友友会広島支部定期総会が5月26日開催されました。

この総会で友友会広島支部の副支部長に就任させて頂きました。

長年に渡り先輩諸氏が築いて来られた広島支部の副支部長という大役をうけ戸惑いと不安が交差する日々でありましたが、就任後3回の役員会を終えて少し落ち着いて参りました。

今後は各役員のご協力とご指導を賜り友友会が、吉久支部長を中心に活発な活動と会員各位の交流が有意義にしていけます様、副支部長として責任ある役割を果たして参りたく思います。

振り返りますと、平成14年9月3日に満60歳を迎えシャープ株式会社を定年退職致しましたが、シャープ株式会社には在籍中は多くの方々の温かいご理解のもと、労組の専従委員長（6年）、八本松町議会議員（1年）、東広島市議会議員（29年）など経験させて頂きました。

この間シャープ株式会社佐伯最高顧問をはじめ、役員の方々のご支援を頂き

シャープ友友会  
広島支部会報  
ひびき第44号

#### 主要記事

- 1面 春夏秋冬 役員会だより
- 2面 地区担当役員報告
- 3面 HOW DO YOU DO
- 4～9面 二科写真真入選関連
- 7面

10～11面

- 寄稿 富士登山体験記
- 社友短針
- 新入会員のご紹介
- 行事予定
- 編集後記

又、労働組合においては松岡 誠委員長など歴代の各委員長にもお世話になりました。

この恵まれた人脈と環境に感謝、感謝で過ごさせて頂いております。

現在、友友会はじめOB会と名がつく組織の会員としては、8組織の会員でもあり、年間を通じ毎月いろんな行事のご案内がいただける事は嬉しくもあります。また欠席の届けは大変苦痛でもあります。

それでも、昨年から今日まで参加した行事（個人を含む）を述べますと、主なもので

- 中国（桂林7日間）
- 東京（溝手防災大臣との食事2日間）
- 三重県（鳥羽2日間）
- 和歌山（御坊ゴルフ2日間）
- 2カ月に一回の昼食会（市政懇話会）

東広島市議会OB総会など参加させて頂きました。

また、今年は統一地方選挙の年でもありましたが、県議会議員選挙では地域候補の支部長として、東広島市議会議員選挙では候補者の相談役を、参議院選挙では手伝いと応援など、今までお世話になった方々への恩返しの一部として、頑張っております。

今後の主な予定としては、東広島市の名誉市民の栄誉を受けられた、元市長の讃岐照夫様の祝賀会世話人の一人として、お世話を。

9月15日～16日はシャープ労組のOB会（四条畷のアイ・アイランドで開催）への参加。

11月にはシンガポール研修の同総会（名古屋周辺の市町職員）は海外で実施との案内状が来ており、加えて友友会と紅葉会の一泊旅行が11月に実施されますが日程調整をしなければなりません。

今はこの様に多忙な日々を送っておりますが、5年前の9月3日に定年を迎えて、1カ月後の10月5日、会社訪問時に倒れ、救急車で国立療養所へ、病名は脳梗塞で45日入院致しました。

今はなんら問題なく、退院後購入した車も5年半で17万kmを越えるほどで、健康な体に感謝しております。

勿論、健康管理に注意するべく努力もしております。

退院後、毎日1万歩以上歩くことを日

課として、雨が降ろうが、雪が降ろうが、年末年始は勿論、海外に行っても、夜ホテルを出て1万歩を越えるまで歩くようにしております。

ただ、退院後5年10ヶ月で10日余り、1万歩歩かない日がありますが、原因は風邪引きと午前様で、さすがに夜の2時過ぎからは歩けなかった事によりです。

タバコも倒れるまでは一日80～100本吸っていましたが、退院後は1本も吸わず、禁煙を守っております。

私がタバコを止めたことを知ったある奥様が「あれだけ吸っていた山本さんが禁煙できたのに」とご主人に話をされた結果、禁煙されたと聞いております。

人生いろいろありますが、健康に感謝し一日でも長くご夫婦で素晴らしい人生を送って、シャープに勤めていた時には出来なかった家族へのサービスをしていただければ幸いと存じます。

友友会の役員としては、半人前ではあります。今までの経験と人脈でご相談に乗れることもあると、自負しておりますので、議員のときと同じようにお使い下されば、私も一生懸命努力して参ります。

最後に、今後ともご指導よろしくお願致します。



## 役員会だより

代表幹事 山口春香

対象期間：2007年7月～9月

※ 写真絵手紙同好会、合同作品展の実施。  
写真同好会、絵手紙同好会では昨年、第一回目の合同作品展を開催致しましたが、本年も引き続き第2回目となる合同作品展を7月3日～8日の6日間、市民ギャラリーにて実施。  
373名もの来客者をお迎えし、盛況の内に終了することができました。

※ 会報『ひびき』はホームページ掲載後も当面、継続配布します。  
前月号『ひびき43号』にてEメール登録会員についてはホームページを見て頂き会報の配布は中止の方向で検討している旨、掲示致しましたが、奥様他ご家族で愛読頂いているケース、或いはダイヤルアップ等回線状況によっては負担になるケースがある等、の実態がある事が分かりましたので、当面は従来同様配布を継続する事と致しました。

※ 秋季旅行の概要が以下の通り決まりました。  
実施日：2007年11月14日(水)～15日(木)  
1泊2日  
目的地：世界遺産『白川郷と飛騨高山、郡上八幡散策の旅』  
尚、詳細については別途、Eメール又は書面にてご案内しましたのでご確認下さい。

※ 2008年度、日直当番受諾調査の実施。  
2008年度(対象期間 2008年5月～2009年4月)の調査を後日実施します。  
過去、返事が頂けず、電話やメールで督促したケースもあります。  
調査票受領後、速やかに回答葉書をご返送頂きます様お願いします。(今回の調査(実施)対象者)  
①. 東広島市在住の会員  
②. 満70歳未満の会員  
上記①、②の条件で下記該当の方  
A. 2007年度の調査で日直不可とされた会員  
B. 2007年度の調査以降に入会の新入会員

現状、日直当番の頻度は6ヶ月に1回程度です。社友会室を訪れる旧友との交流の場ともなりますので万障お繰り合わせの上、参加頂きます様ご案内致します。

※ 社友会々員数(9月3日現在) 合計 3,457名  
本社 2,325名 栃木 262名 東京 519名  
広島 519名 九州 92名



8月度の役員会風景

※ シャープから皆様へ

『株券の電子化』のお知らせとフリーダイヤル設置のご案内。

2009年1月から株券電子化が実施されるに先立ち、シャープ持株会の事務委託会社である野村證券が持株会専用のフリーダイヤルを開設して会員やOBの方への相談や案内を行うサービスを開始されたとの案内です。

野村證券ホットダイレクト部：0120-650-464  
お問合せは：平日・・・8：30～20：00  
土・日・・・9：00～17：00

尚、お問合せの折は必ず持株会コード(675399)をお伝え下さい。

又、本件に関する詳細はシャープ持株会事務局からのチラシを9月7日配布しましたのでご確認下さい。

※ シャープ発表会レポート  
シャープは7月31日、最先端の液晶パネル工場、太陽電池工場および関連企業工場を集結した“シャープ『21世紀型コンビナート』”の展開について発表。  
シャープのホームページにその模様が掲載されていますので、ご一読方ご案内致します。

以上

株券の電子化に伴う

シャープ持株会委託会社への専用電話開設

フリーダイヤル： 0120-650-464

(野村證券ホットダイレクト部)

お問合せには持株会コード(675399)を必ずお伝えください。

(「シャープ従業員持株会OBの皆様へ」より抜粋)

地区担当役員報告

企画担当地区委員幹事 山根行雄

「地区委員制度」その運用と支援を担当させて戴き、早くも2年半近くに成ります。

今年8月末現在、地区会員総数は、76名。

広島35名、福山10名、山口6名、山陰8名、岡山8名、四国9名

発足時の44名から、2年余りで32名の大幅な会員増になりました。

今後、更に団塊の世代の定年退職により、増員スピードが速まると予想されます。

現在までに、広島・福山地区の地区委員を兼務しながら、山口、山陰、岡山、四国地区のお世話を戴いております4名の地区委員の方々のご協力を得て、地方の会員の皆様との交流活動や情報の交換などを通し、会員皆様のご意見や情報を支部へ、また、各地独自の交流会活動などの支援に努めて参りました。

お陰様で山陰地区では、年1回、春季に「山陰地区会」の開催が定着し、有志による「シャープ米子工場の見学も出来ました。

山口地区も昨年度、「山口地区特会」の位置付けで、地区委員の尽力より、第1回の「OB会」が開催され、更に社友会・会員の増員や情報交換の促進を図るべく、来年度、第二回目を開催予定です。

また、広島地区・山口地区では、会員有志の春秋の登山や小旅行なども実施しています。

岡山地区では、地区委員がOB世話人になり、此の2年間、年初・夏季に、「OBゴルフコンペ」、年末には、社友会員・非社友会員合同の親睦「忘年シャープOB会」を開催、メンバーの輪を広げようとチャレンジしております。

本年度も実施予定です。

四国地区は、4県に跨る広範囲で、現在地区委員と連絡を取りながら、中国地区の取り組みを参考に、地区連携の構築を図るべく、各地の情報交換支援のための地区委員補佐役設置に向けて活動中です。

今後、新入会員の中から補佐役を確保し、現在の会員や非会員のメンバーに呼びかけ、OB交流会の開催などの実施にむけ地区委員と連携をとり、対処して参りたいと存じます。

私は5月より、小学生時からの学友と、月2回の書道教室にチャレンジ中です。同好会「ダンス・スポーツ同好会」、「あるこう会」に参加し、健康増進と親睦に努めています。此の所、家事や親族の看護・相談などに追われて、十分に同好会活動の時間が取れておりませんが秋口より、『山歩会』の立ち上げに向け、頑張りたいと思っています。

忙しい中にも「人との出会い・つながり」を大事にし、「一日一生」「ゆっくり、感動を忘れず」の精神で、これから、微力ですが、会員の皆様と、力を合わせ、頑張りたいと存じます。

今後とも、宜しく、お願い申し上げます。

地区委員活動報告

山口地区委員 松田正博

山口地区は部会を開催して早、一年が経ちました。はやいものです。

来年は第二回目の部会を開催しようと思っています。地区単独では活動は出来ておりませんが、広島地区の会員の皆様との交流で山登り、旅行等に参加しています。今後とも積極的に参加していくつもりです。

個人的には、8月19日に山口県マスターズ水泳大会に出場、60歳の部で50m自由型、100m自由型に出場しましたが、残念ながら最下位でした。

また来年度も頑張るつもりです。

仕事を始めました。山口の山間部にあります須金と言う所で、8月20日に道の駅「ふれあいプラザ須金」がオープン。その責任者をする事になりました。

過疎の町の活性化のために、日々頑張っています。今はぶどう、梨の出荷の最盛期で、多くのお客さんが来ますよ。一度よかったですらお立ち寄りください。

岡山地区委員 池田征三郎

今年の残暑はいつまで続くのでしょうか？いささかあきれ果て、うんざりです。

さて、地区活動については、ほとんど新たな動きはありませんが、この夏恒例のSH-GゴルフコンペOB会を8月19日(日)15名参加で実施しました。

又、計画として、旧設備会社を中心にした第10回シャープOB会を以下の通り予定しています。

SH-Gゴルフコンペ 第10回シャープOB会

日時 2007. 10. 27(土)・28(日)

場所 高松国際ホテル

27日は夕刻から懇親会

28日はゴルフコース又は観光コース

尚、年末は今年も「忘年OB会」を計画する予定です。

今回は、活動報告ではありませんが、関心のある方は、ほっと情報として、ご案内したいと思います。

光熱費ゼロ生活の実現！これからの家計支出をいかに抑えるか！初期投資はいりませんが、吉報です！！

「省エネリフォーム」機器+工事費合計の1/3が国からの補助金が支給されます。政府系独立行政法人「NEDO」平成19年度住宅・建物高効率エネルギーシステム導入促進事業として。

但し、申込みは10月18日までに所定の応募申込みが必要です。早めの申込みだとほぼ確実に補助が受けられると思います。(条件等あります。詳しくはNEDOのホームページで広報をご確認ください)

応募申請代行業者はソフト計算等できるところに限られ、中国地区各地の紹介は一報いただければ、ご案内出来ます。

来年度も継続予定のようですが、補助の減額があるかもしれません。あくまでも参考にお知らせさせて頂きました。



ゴルフ

「レベルアップ」の目立つ3戦。そして初優勝の3氏。努力の成果、おめでとう・・

出口 昌孝

第一〇二回コンペは、例年の梅雨明けも台風4号の到来で各地にその爪跡を残しながらひがしの海上へと去りました。梅雨末期か？梅雨前線の居座りか？週間予報が日々変わり当日は、曇り夕刻より雨予報でした。プレイにはむしる幸いかも？会場も貸切り状態の様子でのスタートでした。ところが、お昼前から予報を裏切り霧状の雨、降ったり止んだりの状態では本降りとなり、更に霧の出るホールもあり雨具の煩わしさがそのままのプレイでした。

結果、成績は全体に天候に左右されペースダウンがそのまま出ていますが、何時もながら誰かが日頃の成績とは別の秘めたる実力を発揮するもので、唯一のアンダープレイであり「おめでとう」でした。今回より新たに「神野和彦さん」の加入もありました。

第一〇三回コンペは、立秋の過ぎたとは言え残暑の厳しさが歳と共に堪える8月の会場でのコンペ。全体の成績向上は素晴らしい、アンダーパー9名中の上位3名は実力向上の本物であってほしい。特に、8アンダーでの初優勝は見事なものです。何時の場合でも「あのホールでのあれが無かったら・・・」失敗をテーマに練習し次回での結果を楽しみに励んだ結果でしょう。

今回よりラッキー賞も4点増やし、上位入賞をあきらめ運を当てに「ラッキー賞」を楽しめるようになりました。今回より新たに「松見弘さん」の加入もありました。

第一〇四回コンペは、あれから台風も南の海上に発生しては日本上陸を外れ、今回は9号となって伊豆半島から関東・東北、北海道へと抜け、当地には幸い影

響も無く、残暑は残るものの秋風の冷やかさが感じる日和でした。

結果は、6アンダーを筆頭にアンダーパーが10名、パープレイが3名、それから1オーバーから18オーバーまでに32名がひしめく接戦模様でした。それに加えショットの正確さか？

それとも特技か？一人でニアピン2個が前回より続いているやら。またオー

パーでも10オーバー以上の選手の数も少なくなっているのもレベルアップの証でしょう。次回はどんな記録ができるのかな？  
会場は「瀬戸内ゴルフリゾート」です。お楽しみに・・・

写真上から一〇二回・一〇三回・一〇四回



平成19年度（7～9月度）成績表

(NETスコア)

第102回コンペ(18H) (7/20朝日G/C)			第103回コンペ(18H) (8/21安芸C/C)			第104回コンペ(18H) (9/10広島国際G/R)		
順位	参加者	par	順位	参加者	par	順位	参加者	par
1	岩垣	-4	1	奥村(恭)	-8	1	伊藤	-6
2	徳永(文)	0	2	長谷川	-3	2	山内	-4
3	山内	+2	3	相馬	-3	3	嵐	-3
4	前田	+2	4	鈴木	-2	4	谷口	-3
5	井谷	+3	5	山本(幸)	-2	5	山田(晃)	-3
6	桂	+4	6	山内	-1	6	伊野部	-2
7	谷口	+4	7	佃	-1	7	廣瀬	-2
8	車角	+4	8	田井	-1	8	湯浅	-1
9	勝山	+4	9	細田	-1	9	井上	-1
10	末沢	+4	10	伊野部	0	10	佃	-1
11	出口	+5	11	猪飼	0	11	出口	0
12	杉山	+5	12	津郷	0	12	猪飼	0
13	神野	+5	13	松本(邦)	+1	13	沖田	0
14	嵐	+6	14	明石	+1	14	山本(善)	+1
15	鈴木	+6	15	小谷	+2	15	桂	+2
16	松本(邦)	+6	16	山口(善)	+2	16	御船	+2
17	廣瀬	+6	17	神野	+3	17	益田	+2
18	沖田	+7	18	伊藤	+3	18	杉山	+3
19	村上	+7	19	佐々木	+3	19	吉田	+3
20	高見	+8	20	松見	+3	20	相馬	+3
21	山田(晃)	+8	21	高見	+4	21	山口(剛)	+4
22	山本(博)	+8	22	谷口	+4	22	弓井	+4
23	新宅	+8	23	山本(博)	+4	23	徳永(文)	+4
24	河上	+8	24	廣瀬	+4	24	勝山	+4
25	猪飼	+9	25	村上	+4	25	堀	+4
26	原田	+10	26	西尾	+4	26	村上	+4
27	御船	+10	27	嵐	+5	27	堂本	+4
28	湯浅	+11	28	清田	+5	28	佐々木	+4
29	森本	+11	29	徳永(文)	+5	29	松見	+5
30	佃	+11	30	河上	+5	30	山口(善)	+5
31	奥村(恭)	+11	31	井谷	+6	31	森本	+5
32	西尾	+11	32	沖田	+6	32	清田	+7
33	井上	+12	33	岩垣	+6	33	高見	+7
34	堂本	+13	34	末沢	+6	34	奥村(恭)	+7
35	小谷	+14	35	桂	+7	35	山本(博)	+7
36	松浦	+14	36	出口	+8	36	西尾	+7
37	相馬	+14	37	杉山	+8	37	松本(全)	+8
38	清田	+15	38	湯浅	+8	38	井谷	+8
39	津郷	+15	39	松本(全)	+9	39	田井	+9
40	佐々木	+17	40	新宅	+9	40	原	+10
41	山口(善)	+18	41	森本	+9	41	奥村(昌)	+12
42	伊野部	+18	42	勝山	+11	42	神野	+13
43	山本(善)	+18	43	益田	+11	43	新宅	+13
44	丸山	+20	44	吉田	+14	44	原田	+14
45	中西	+21	45	牛田	+14	45	吉久	+18
46	奥村(昌)	+22	46	弓井	+15			
			47	奥村(昌)	+17			
			48	吉久	+17			
			49	原田	+19			
	OUT/IN		OUT/IN		OUT/IN			
	勝山/松本(邦)		明石/松本(全)		吉田/奥村(恭)			
N.P.	清田/河上	N.P.	嵐/松本(全)	N.P.	山本(善)/奥村(剛)			
	岩垣/杉山		小谷/西尾		原/山田(晃)			
	小谷/西尾		神野/湯浅		徳永(文)/伊藤			

入賞者写真

コンペ	2位 (左側)	優勝者 (中央)	3位 (右側)
102回	徳永さん	岩垣さん	山内さん
103回	長谷川さん	奥村さん	相馬さん
104回	山内さん	伊藤さん	嵐さん



釣 り

「たかがサヨリされどサヨリ」  
30センチを超す大物釣りのコツは？

川田 正勝

9月18日に予定していましたが船釣りが中止になりましたので今回は、私が魅せられたサヨリ釣りを紹介します。  
“たかがサヨリされどサヨリ”がびったりの魚がサヨリです。

私が釣りを始めたころからサヨリはよく知っていました。  
波止場へメバルを釣りに行くと、子供がよくサヨリを釣っていました。10〜15センチの可愛い魚です。

サヨリは小さくて誰でも釣れる魚だと思っていたのが私のサヨリ感でした。  
ところが6年前(定年になった年です)ある人が(誰か覚えていないのです)安芸津で30センチのサヨリが釣れるポイントが在ると言いました。そんな馬鹿な！  
センチなら秋刀魚だと思いました。



ポイントは安芸津の赤碕鼻だそうです。半信半疑で10月に行きました、7人ほどが先に釣っていました(ほとんど年配の方)。  
老夫婦が網を持っていたので何を釣っているのかと聞きましたら、サヨリです。



よ。大きいのが釣れると仕掛けが切れるので上げる前に網ですくうのだそうです。  
私もその日5匹ほど30センチのサヨリを釣り感激でした。  
刺身に出来るサヨリを釣ったのはその時が始めてで、サヨリを見直し魅せられた始まりです。

ダンススポーツ

「暑かった今年の夏も休まず頑張りました」  
江頭 敏晴

現在の会員数は、在籍者15名、長期休暇者4名、残りの11名中8名〜10名が毎回頑張って活動しています。  
今年の夏は特別暑く、冷房設備の無い体育館で絞れるほどの汗をかきながらも頑張って練習してきました。  
今年の四月に入会された会員の方達も、一日も早く先輩達に追いつくべく頑張っており、今年12月のダンスパーティーには新会員の皆さんも参加を楽しみにしておられます。  
これから少し涼しくなったら、ルンバ、ジルバ、チャチャ等のラテンを、新しいステップも加えて強化してゆきたいと考えています。これから年末のダンスシーズンにむけて、パーティーも多くなります。練習も兼ねて、パーティーへの参加、合同練習なども進めてゆきます。



それから7年、30センチ級のサヨリを探しているいろいろ調べました。  
①釣れるポイント  
②時期  
③仕掛け等  
④私の経験を書きます。  
①のポイントですが、山口、岡山にもいいポイントはありますが近海を紹介し  
ます。  
安芸津の赤碕鼻、大芝島、倉橋島の須川港、音戸大橋を過ぎたあけぼの釣具前の波戸、江田島の小田港、切串港、呉ポートピアです。他にも有ると思えますが探します。  
②の釣れる時期ですが、7月から8月が大物がつれます。9月は型が小さくなりますが数は釣れます。10月になると

型がよくなり11月まで釣れます。  
③の仕掛けですが、大物(30センチ級)は飛ばし浮きと当たり浮きが要ります。  
飛ばし浮きに撒き餌を入れ20〜30メートル沖へ遠投します。  
針は5号で、ハリスは1〜0.8です。えきは大粒のアミ海老です。小物は当たり浮きで針は3号でハリスは0.6でいいです。今から11月まで各々のポイントで釣れます。  
“たかがサヨリされどサヨリ”  
この秋30センチ級のサヨリを釣りたい。詳しくは川田まで連絡してください。宜しく。



写そう会

作品展が相次ぎ開催  
写そう会会員が多数出品

谷水 毅

第二回、写真・絵手紙合同作品展を開催。昨年に引き続き、絵手紙同好会と合同で第二回、写真・絵手紙合同作品展を



絵手紙合同作品展会場での光景

七月に東広島市民ギャラリーで開催しました。(会期：7月3日～8日)

日頃の同好会活動の成果を社友会・紅葉会会員の皆さんを初め、東広島を中心とした一般市民の方にも披露する事で、シャープ社友会活動のPRにも役立てました。

夏季撮影会は8月初旬に山口～津和野まで遠出し、昔懐かしいSL「やまぐち号」の雄姿をカメラに収めました。



「SLやまぐち号」撮影会 津和野駅

今回は、流し撮り技法の習得を目指し会員間で事前に情報交換を行いました。が、いざ実践となると、「秒刻み」の僅かなシャッターチャンスを目く捕える事は至難の業で、なかなかイメージ通りにSLを止める事が出来ません。

9月度月例会の講評会では、自選のSL作品を持ち寄り、会員の力作を前にSL撮影談義に花が咲き、例会も大いに盛り上がりました。



東広島合同写真展会場での作品講評光景 (上・下)

こうした年間を通して撮影した作品を基に、昨年に引き続き、東広島写真クラブの8団体で構成する東広島合同写真展(開催場所：東広島市立美術館、会期：9月12日～23日)にシャープO.B.写そう会として東広島写真クラブ団体の中で最多の14名、出展数26点を出品し、地域との活動交流を図ると共に、他の写真クラブ会員の出展作品を鑑賞する良い機会を得ました。

フォトコンテスト受賞関連では、第92回、二科展(全国版)写真の部で会員の佐藤さんが見事、初応募で初入選の快挙。



又、第29回、広島二科公募展では、辻さん、谷水さんが入選し、今年新たな二科展公募の動きが出てきました。入選作品は写そう会HPにも紹介していきますので、是非、ご覧下さい。

11月に予定されている恒例の東広島市美展では、昨年に引き続き写そう会会員から数多くの応募者として入選者が出る事を期待しています。

10月～11月は愈々、本格的な紅葉のシーズンを迎え、これから撮影会回数も増える事から、会員の動きも益々活発になるものと思います。

引き続き、新入会員を募集中です。月例会や常設のフォトギャラリーコーナーを気軽に覗いてみて下さい。



広島支部 佐藤文武さん(写そう会)  
第92回二科展(全国版) 初応募で初入選の快挙

佐藤さん入選作品 「静 寂」



佐藤文武さんからの一言

二科展は絵画・彫刻・デザイン・写真の4部門で行われますが、写真部門だけで応募点数 15,915点(3,365名)ということが、入選して初めて解りました。

その中に1点だけ応募して入選してしまいました。  
「運が廻って来た！」と思って早速宝くじを買ったのですが、どうやらこちらの方が確率は低いようです。

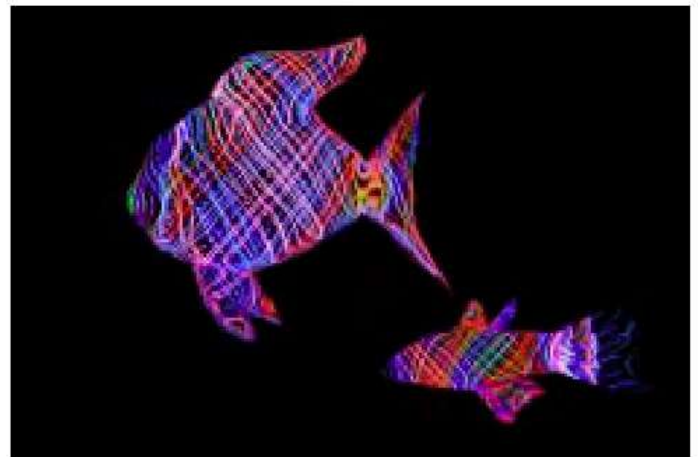
作品は、カニを食べられる時期を選んで「写そう会」4名の有志と鳥取砂丘に行った時のものです。

私だけ1回で2度おいしい思いをしてスママセン！

谷水 毅さん・辻 重樹さん (両氏共写そう会)  
第29回広島二科公募展・入選おめでとう



谷水さんの入選作品  
「残照」



辻さんの入選作品 「孫の夢」

秋季旅行のお知らせ

ゆっくりコース『世界遺産・白川郷と高山街並み&郡上八幡散策の旅』

開催日時：平成19年11月14日(水)～15日(木) 1泊2日

集合場所：シャープ(株)第3工場 午前7時15分

コース：1日目 世界遺産「白川郷」萩町散策ー「高山グリーンホテル天領閣」一泊

2日目 飛騨高山市街並散策ー郡上八幡市内散策

囲碁将棋

この歳になると数年では皆さんあまり変わりませんね〜

山口 春香

八月から新たに相馬さんがメンバーに加わって頂きました。  
相馬さんは、以前から我々の対局の状況をだまって覗いてくれていたもので、その腕の程はおおよそ見当が付いたのですが、先ずは一局お手合わせ。予想通りの惨敗。  
そこで囲碁同好会のリーダーとしては不本意ながら、以降は二目置いての挑戦、八月に続いて九月も再挑戦。  
対局の途中で、あつ、今度は勝てそうだ！と思うのも束の間、終わってみると三連敗。横では杉山さんと樫見さんが真剣な面持ちで対局。

併し私は杉山さんにも樫見さんにもそ



して相馬さんにも、又古くは江川さんにも負けっぱなし。  
次こそはリーダーとしての面目にかけても負ける訳にはいかない！と今から戦術を練っているのですが如何なります事やら。

ところで当同好会が再スタート(平成十四年十一月)して間も無く五年、本当に早いものです。と言う事で今回は写真の写真を撮りませんでしたので、発足当時の写真を蔵から引っ張り出して添付しました。  
この歳になると数年では皆さんあまり変わりませんね〜。

ボウリング

「第35回7月大会 村上孝一さん優勝」

牛田 春雄

7月14日(土)開催の7月大会当日は朝から台風4号の影響受け、やや激しい風雨を掻い潜りつつ会場に到着する状況であった。ボウリング同好会も益々盛況で悪天候の中、元気に活動出来ることに会員一同感謝、第35回大会を実施致しました。

本大会も賀茂ボールで28名(社友会16名、紅葉会3名、招待会員9名)の参加、大いに盛り上がった。競技はハンディキャップ付3ゲームトータルで開始し、中間2ゲーム時点の成績を確認すると、坂本きみえさん389

点、出口昌孝さん368点、村上孝一さん364点で接戦の展開であり、最終の3ゲームの成績に関心が寄せられた。成績結果はサウスポウで頑張っておられる中間3位の『村上孝一さん』が3ゲーム目217点を出し、合計581点の高得点で優勝された。準優勝は招待会員の坂本きみえさん564点、第三位 出口昌孝さん、553点、で優秀な成績を勝ち取られた。

今大会のハイゲーム賞(HDCP除く)は

男子の部 喜田 栄禧さん 222点。

女子の部 坂本きみえさん 174点

それぞれ 日頃の練習成果を発揮されました。

上位6位までの成績

(3ゲーム合計点HDCP含む)

1位	村上 孝一	581点
2位	坂本きみえ	564点
3位	出口 昌孝	553点
4位	牛田 晴雄	549点
5位	細井 博文	540点
6位	藤田 喜弘	539点

(敬称略)  
以上





海に山に

ウォーキングを楽しむ  
西尾 弘

爽やかな吾妻山高原ウォークを楽しむ

9月1日、吾妻山コース

今回は久しぶりの山登りコース、広島百名山の一つ「吾妻山」一三三八mに登りました。週初めから雨天つづきで実施が危ぶまれましたが、当日朝の天気予報、雨の確立30%ながら決行を決定。

参加予定者24名全員が遅れる事なく定刻に集合、5台の乗用車に分乗して一路県境の山「吾妻山」をめざして出発。

途中世羅町の「大豊農園」で旬の梨の試食を楽しみ、恒例のショッピンングタイム、思い思いお土産のショッピンングを楽しんだ。小休憩の後再び初秋の備北路のドライブを楽しみ庄原で昼食の弁当を調達。県北「比和町」をめざして国道四三二号線の山間路を北上。



12時過ぎにようやく目的地の吾妻山休暇村に到着。広島県は南北にも広い事、実感した。

早速草原で楽しくお弁当。記念写真撮影の後、サブリーダーの指導のもとストレッチ体操、登山の注意事項を聞いていよいよ吾妻山の頂上をめざして登山の開始。残念ながら、足を怪我している方、体調の優れない方若干名は登頂を諦め、麓の草原を散策して楽しんでもらった。

登頂組は途中高山植物の美しい花々を楽しみ、写真を撮りながら登山。麓から眺めると違いなかなか険しい道のり、だいぶ苦勞をされた方も居られたが、全員無事に登頂成功。百名山と呼ばれるだけあって、頂上からの眺めがすばらしい。麓の休暇村、隣の烏帽子山、比婆山等が美しく眺められた。

頂上はもう少し涼しいかと思っていたが、生憎の天候でやや蒸し暑く感じたが、景色を眺めたり、島根県との県境の標柱や、頂上の標柱をバックに記念撮影している間に汗も引き、人数確認をして下山する事に。帰りは少しなだらかな尾根道を通って全員無事下山した。約2時間掛けて本日のウォーキング終了。休暇村ロッジでしばし休憩して、帰路に付いた。

帰り道の近くという事で、既におなじみになった三良坂の有名なお豆腐屋さん「佐々木豆腐店」に立ち寄り美味しい豆腐のおみやげを買った。

東広島市役所に戻ったのが午後6時。今日は今までに無い長時間の例会を楽しんだ。

しまなみ海道ウォークを楽しむ!

9月15日、因島大橋コース  
今回は海浜コース、年間計画では、生口島サンセットビーチから多々羅大橋を

渡って多々羅しまなみ公園を往復するコースであったが、今年は特に残暑が厳しく、炎天下の長距離ウォークは困難との判断で、因島大橋往復にコースに変更した。

因島大橋は「しまなみ海道」の七橋のなかで唯一、自動車道の下に自転車、歩行者道がある2階建て構造の橋で、橋を渡る間は日陰を歩ける。さて、ウォーク当日、前日までの雨が上がり、終日曇りの天気予報であまり暑くないことを念じながら、参加者21名全員が、東広島市役所集合。リーダーの挨拶の後、4台の車に分乗して向島に向けて出発。



途中、尾道で弁当を調達。久しぶりに旧尾道大橋を渡って向島へ、向島の市街を通り抜け因島大橋麓の「立花臨海公園駐車場」へ到着。

ここからしまなみサイクリング道路を通って因島大橋へ、これが結構きつい上り坂、蒸し暑い気候と重なって、皆大汗をかきながらやっと橋のたもとに到着。遅れているメンバーを待ちながらここで一

休み。

先ほど出発した駐車場を眼下に眺めながら海面を渡ってきた浜風で正気をとりもどす。橋の中は日陰で高い橋上からの眺めは美しく、時々浜風が吹いて気持ちよい橋上ウォークを楽しんだ。

橋を渡りきいたらまた炎天下のサイクリング道路を下って、因島大橋記念公園へ、先月は海水浴で賑わっただろうと思う美しい砂浜の一角に今はひっそりとした無料休憩所がポツリ、ここで昼食休憩とした。

休憩所の片隅に携帯テントを張った先客が居るようだが、主は不在。古びた自転車にあらゆる生活道具を満載し傍らに、「日本一周」「日本橋スタート12週」と書いた紙がおいてあった。しばらくしてその主が鉢を数匹持って戻ってきた。どうやら今日のおかずを探りに行っていたようだ。なんと優雅な人生だろう!

昼食後、「山歩会」の山根リーダーより発足案内と例会の実施計画の説明があり、初回例会の案内を楽しみに待つ事にした。帰りはしまなみ海道の大浜PAに立ち寄り、冷房の効いたレストランでお土産物を物色したり、ソフトクリームなど思い思いの涼を満喫して、再び因島大橋へ、帰りは浜風も心地よく吹いてのんびりウォークを楽しんだ。

下を通る大きな貨物船を真上から見下ろし普通は見れない貨物船の甲板を見ることができた。

橋のたもとからは、歩行者用の石段で駐車場に降りた。急な階段で有ったが木陰で短時間で降りることが出来帰りは比較的楽でなウォークでした。心配したにわか雨にも会わず、無事東広島市役所に戻って解散。

皆さんお疲れ様でした。



## 寄稿 念願の富士登山体験記

荒木 康弘

夜行バスでの車中泊、8合目では5時の夕食、6時就寝(仮眠)、夜11時起床、連日30℃を超す真夏の下界から4℃の真冬の頂上へ、など…非日常的な世界を体験。

日本一高い山・富士山、日本を象徴するフジヤマ、出来るなら一度は登ってみたいと思っていた。  
このたび、旅行会社のツアーで行けるならと「あるこう会」東リーダーを中心に相馬さん、石井さんと荒木、4名で参加。 ツアー総員41名、男性9名に対し女性32名、女性軍強し！（期日はお盆過ぎの8/21~8/23）  
主な富士登山日程と行程

- 【1日目】東広島—(新幹線)—新大阪/JR新大阪駅南側  
22:30 発・夜行バス乗車
- 【2日目】北口本宮富士浅間神社 — (富士スバルライン)  
— 7:00頃 富士山5合目到着 (昼食)  
11:00頃・登山開始——約4時間——富士山8合目  
宿舎へ夕刻到着 (休憩/夕食/仮眠)
- 【3日目】8合目23:00起床/23:30出発—約4時間—富士山頂・御来光4:00~5:00頃 (朝食/休憩・約1時間) 下山——約4~5時間——5合目10:00頃到着  
バス(富士スバルライン) 富士西湖温泉 (入浴 13:00——帰途へ)



バス車窓から見た  
河口湖付近の富士山

河口湖、山中湖を左眼下に、遠くは南アルプスの眺めを楽しみながら順調にスタート。

6合目から8合目の宿舎まで  
6合目からジグザグの登山道、ここから上はもう緑の木々は見られず荒涼とした火山レキ地。  
頂上を見上げれば、あの秀麗な富士の姿はなく果てしない茶色の斜面、瓦礫のかたまり。  
足元は火山灰、砂、小石、砂利の急斜面、見上げて茶褐色の盛り上がり、山頂には笠雲。  
登山ガイドの合図で定期的に休憩をとりながら只ひたすら登る、一步一步上を目指し。  
山小屋での休憩も見上げれば灰色の岩と茶色の斜面、いま登ってきた斜面を見下ろせば断崖絶壁  
休憩では給水と甘いものでエネルギー補給、登りながら呼吸を心がける。  
飲料水も高度が上がるにつれ価格も上昇、500mlのペットボトルが500円、トイレも有料100円～  
急な岩場では上の岩をつかみ、四つん這い状態で登る、準備した軍手が役にたった。

いくつかの山小屋と売店を過ぎ、見上げる斜面の上の山小屋に大きく書かれた「太子館」の文字が見えてきた、16時過ぎ8合目、今日の宿泊「太子館」へ到着。  
荷物、装備は自己で責任管理、入り口で渡されたポリ袋に登山靴を入れて3階の寝床へ。  
寝床は横長の二段式、男女区別なく同室の寝床、並んで寝るだけの空間、1人ずつ寝袋が用意されている。  
寝床を確保し一階玄関横の食堂へ、夕食は事前に読んだガイドブック通り、定番のカレーライス。  
ふと山小屋の外を見ると、登山者は全員雨具姿、いつの間にか雨が降り出していた。  
夕食後、登山ガイドの注意「明日は今日の3倍シンドイですよ！覚悟して下さい、ウソではありません」  
ツアー41名中6名リタイア、酸欠のせいか少し頭の芯が痛い、添乗員さんいわく「眠れば治ります」  
いつもならこれからが夕食の時間という18時に寝床へ、ここは富士山8合目、外は雨、寝るしかない。  
明日の天候と近くの人イビキを気にしながら仕方なく眠りにおちた。



五合目中央広場からのかさ雲をかぶった富士山

左から石井さん、相馬さん、東さん、私

5合目から登山スタート  
夜が明けるころバスは河口湖ICから富士スバルラインへ前方に富士山が見えた！ 絶好の晴天。  
富士山の北側(山梨県側)河口湖～富士スバルラインの終点5合目から登山ルートが始まります。  
バスを降りた5合目で既に標高2300メートル、好天に恵まれ素晴らしい眺望。  
5合目はまさに観光地、観光バスから多くの人が降りてくる、修学旅行、観光ツアー、外国人も多い。  
観光と登山者は服装ですぐにわかる、観光客の履物はスニーカー、サンダル、ハイヒールなど多彩。

風は強く帽子が飛ばされそうだが、ここでは涼風。  
ここで昼までゆっくり高度に体をならし、昼食後、登山開始。5合目の中央広場に集合、若い登山ガイドの挨拶と注意事項を聞き、いよいよ出発。  
今日の行程は4時間の予定で8合目まで、宿泊の山小屋「太子館」を目指します。



## 8合目から頂上まで

真夜中11時、「起きて下さい！」の声で飛び起きた、まさに仮眠だ、防寒着と雨具を重ね着し登頂準備、起床から30分後出発というあわただしさで眠いと思ふ暇もない、昨日の頭の痛みも忘れてしまった。

天候は思わしくない、ヘッドランプを点けて山小屋前に集合、山小屋前はヘッドランプの光が行き交い頂上を目指す人でごった返している

ガイドの案内では天候悪く頂上での御来光は望めないとのこと、頂上到達だけを目指し深夜のスタート。

ヘッドランプで足元と前後の人を確かめながらひたすら登る、酸欠と寝不足をたえず深呼吸でおぎなう。

風も強く、時折の突風で体がぐらつく。

真っ暗闇の深夜、多くの人が山頂を目指し黙々と登る情景を考えると夢の中のような、いや雲の中だ。

午前4時過ぎ、回りが白くポーと明るくなってきた、夜明けだ、本来なら御来光の時間。

## 念願のわが国最高峰・登頂達成！

そして、白い霧の中に頂上の「久須志神社」の鳥居が見えた、呼吸を整え最後の石段を這うように登り頂上に到達！頂上といっても一面の白い霧と近くの数人のほかは何も見えない…

視界数メートル、頂上は雲の中、「富士山頂浅間大社奥宮」の石柱を登頂の証明に記念撮影。

日本一の眺望はあきらめるしかない、頂上での集合場所と休憩の山小屋(山口屋本店)へ向かう。

頂上の山小屋ではアツアツの豚汁(800円)で朝食と休憩一時間ほどの休憩で富士山頂の滞在はあっけなく終了、霧雨が小雨になる中、下山開始。



初登頂！ 2,007年記念すべき夏に  
山頂(3,776m)からのご来光と絶景は次回に

## 下山開始

下山は登山道とは別のザレ場のジグザグ道(フルドーザー道)、このルートは登山・下山別の一方通行。

8合目では雨が一段と激しく休憩も雨の中に立ち尽くす状態、カバーをしたザックにも浸水。

風の無いのがせめてもの救い！

7合目を過ぎるころから雨が止み、雲の切れ間から下界の緑がのぞき出した。



五合目登山道から見た山中湖

7合目を過ぎ右足先と左ひざに痛みが発生、頂上から5合目まで一気に下山、登りより足の負担が大きい

6合目でふもとの視界が大きくひらけ、富士山中腹の雄大さと高さをあらためて実感した

休憩の間に雨具と冬の装備を解除、体は身軽になったがその分ザックの容量が増加。

ひざの痛みでグループの進行に遅れ、最後尾で添乗員に見守られながら、ゴールの5合目にたどり着いた。

## 帰路へ

5合目でツアー全員の無事を確認、昼夜を共にした登山ガイドと別れを惜しみ、帰りのバスに乗り込む。

バスは昼食と風呂が待つ西湖温泉へ、三日間の疲労と汗を流し、空腹を満たし我に返った。

あとは一路帰途へ、振り返ると富士は雲の衣を被ったまま、我々も振り返りもせずバスで爆睡。

富士山頂上まで登りきった達成感と充実感は疲労を上回るものがある。

写真や絵画、どこでも見る富士山、見るだけとは違う富士山を知った、この足で登ったという実感。

それとは逆に、最高峰からの眺望と御来光が拝めず、運を任せ天候に対する不満が残った。

山頂での絶景と御来光を…、今回の登山で懲りるところか、晴天の富士山への再挑戦の想いが生まれた。

2007年、私の夏は「富士山登頂」という忘れられない記念すべき夏となりました。

来年は広島支部「山歩会」とも相談、再び富士登山を計画の予定、鬼も笑う来年の話、一緒に笑って下さい。

参加者を募ります。

以上



社友短針

佐藤武文さん  
「写真雑感」



このたび二科展に初応募・初入選という事で、非常に嬉しく思っています。と言っても、3月上旬に応募、4月下旬に入選内定、6月下旬に入選確定、9月初旬の記者発表まで公表不可という半年

新入会員のご紹介  
平成19年7月～9月末まで入会

- 佐古 美治さん No.3864 通信シ) 品質保証部
- 尾崎 巧さん No.3865 SDS管理部
- 松岡 一則さん No.3869 AV)第一品質保証部
- 中川 清利さん No.3886 LSI(事本)CSセンター
- 加藤 敏雄さん No.3905 通シ) 資材部部品管理
- 兼田 守正さん No.3915 (CS)西日本相談室
- 江本 俊次さん No.3925 LSI(事本)資材部
- 後藤 昭夫さん No.3926 LSI(事本)生産センター  
福山環境安全推進センター
- 田谷 清二さん No.3927 シャープエレクトロニクス  
マーケティング(株)  
西日本統轄 広島支店

9月末現在 広島支部会員数 263名

がかりの行程でしたので、4月下旬のヤッターという感激はかなり薄れていま  
す。  
実は、この写真は絵手紙との合同展で展示して、広島の写真の大御所といえる方に、意図的に敢えて取った構図に対し酷評を受けています。反骨精神もあって、「二科ならどう評価する」という気持ちで応募しました。  
構図論も大切ですが、「何故」そんな構図論があるのか、というところを理解しておかないと自分の写真を狭い世界に追い込んでしまうことになりす。昔からの構図論は、「写真という静止した一瞬の画像の中で如何に動きを表現するか」ということを原点としていることが多いので、シーンとした静かな情景を表現したい時は要注意です。  
かく言う私、写真を撮り始めたのは中学時

広島支部行事予定

- 10/26 (金) 定例役員会
- 11/14 (水)～15 (木) 秋季旅行
- 11/30 (金) 定例役員会

第4回シャープの森・植樹会開催のご案内

日時：10月27日(土) 10:00～12:00  
集合：9:30 職業訓練センター駐車場  
服装/準備物：作業に適した軽装(長袖が良い)  
運動靴・タオル・水筒等  
お問合せ先：通シ)総務部 原田・清水さんへ(内職2811)  
参加希望者は10月18日までにご連絡ください。

代で履歴は50年以上と長いのですが、今まで誰にも師事したことがなく写真の本(構図、露出などの特集)や月刊誌を読んで勉強らしいことを始めたのは、この12、13年程度です。  
私にとって写真の先生は、本に出てくるプロの先生方と言えます。が、いろいろな先生方の考えを自分の性格に合ったところだけつまみ食いしたような勝手なやり方です。  
「写そう会」に入ってから、皆さんの良いところをつまみ食いしようと思がけていますが、なかなか真似の出来ない特技・視点をますます磨いている方も居て、おいそれとつまみ食いは出来ませぬ。  
写真を撮るアートだと意識し始めたのも「写そう会」に入ってからです。ポチボチ、自己流(佐藤流)というのを確立するように努力すべき年頃かなーと思いは

めています。  
二科展(二科会写真部展)に入選内定してから確定するまでの2ヶ月で特に思ったのは、「オリジナリティ」の重要さです。その間に他人の作品を含めて過去に類似の作品がないか、徹底的に調べるそうです。他人が撮りつくした「写真の名所」に行くよりは、自分でウロウロして何かを「発見」することが大切です。  
写真の場合、こういう写真が撮りたいという事前のイメージも大切ですが、カメラアイで「発見」すること(目のつけどころ)が非常に重要だと思います。  
それには、いろいろな良い写真をその何処が良いのかじっくりと見ることも必要でしょう。  
レンズだけでなく目玉を磨くことを心がけて今後も励みたい、楽しみたいと思っています。(関連記事7ページ)

訃報のご連絡  
支部会員 野口 功様(No.214)  
去る九月六日、ご逝去されました。  
謹んで、ご冥福をお祈り申し上げます。

編集後記  
今回は二科展(全国版)入選の佐藤武文さんと、真夏の富士山を初登頂された荒木康弘さんに寄稿をお願いしました。  
それぞれ個性が出ていて、楽しくお読み頂けると幸いです。  
このほかにも各同好会より精力的に原稿を提出頂きました。  
その熱意に、ページを増やして対応させて頂きました。(S)